

平成20年度事業報告書

I. スポーツ振興支援事業

1. スポーツを通じた青少年の健全育成事業

(1) 個人能力向上のための体力測定実施

YMFS提携ヨットスクール8クラブ53名の体力測定を4月と12月に実施し、課題点を記した測定結果を各個人に配布しました。

(2) 指導カリキュラムの整備と充実化

セーリング指導者向け教材として、DVDおよびテキストを作成し、YMFS 提携ヨットスクールへの無償配布と販売を開始しました。

DVD「ディンギーセーリング<指導者用>」テキスト「YMFS セーリングテキスト<指導者用>」

(3) ジュニアヨットスクールの運営

YMFS葉山ジュニアヨットスクールにおける、現状のスクール体制を大幅に見直し、より魅力的かつ安全なスクール運営体制を築きました。

運営管理体制を強化し、当財団の箱守康之が校長に就任し、練習日には全て出席するようにしました。また、若手コーチを加えた新しい指導者体制を作り、スクールカリキュラムにも検定制度の導入を行い、さらに、スクール料金も、年額24万円から12万円に減額しました。

YMFS提携ヨットスクールに対しては、指導者育成支援として、日本体育協会指導員資格取得(1年間通期の受講)とYMFS提案の指導講習(3月)の受講料の一部を支援しました(現在4スクール6名が受講中)。また、艇の貸し出しや安全施設充実化に向けた支援を開始しました。

その他、葉山に加えて、いわき、琵琶湖、玄海の各ジュニアスクールを訪問し、運営状況等のヒアリングを行い、それぞれのスクールの課題や意識調査を開始しました。

2. スポーツの普及推進のための指導者への教育指導活動・指導者の派遣および教育機器等の提供

(1) 指導者向け講習会の実施

3月の浜名湖でのセーリング・チャレンジカップ開催時に、各クラブの指導者に対して講習会を実施しました。

(2) 教育機器の提供

4月20日～6月30日の約3ヶ月間の公募を実施し、全国から191件の応募があり、7月4日に岡崎日本体育協会専務理事立会いのもとに抽選を行い、48提供先を決定し、配布しました。提供先からは、使用状況のレポートをいただき、活用方法や感謝の声をいただきました。尚、6月に発生した岩手・宮城内陸地震の被災地である栗原市の小学校2校から応募があったため、依頼品を特別提供しました。

3. スポーツの普及・振興に関する調査研究、スポーツの普及・振興のための講習会・フォーラムの開催および競技会等の開催支援

(1) 調査研究の実施

① スクール生・一般対象興味関心調査

YMFS提携ヨットスクール8クラブ53名に対して4月、12月に体力測定を実施し、合わせてスクール生の興味関心調査を実施しました。

② 体力測定データ分析

YMFS提携ヨットスクール8クラブ53名に対して4月、12月に実施された体力測定のデータ分析を行い、課題点を記した測定結果を各個人に配布しました。

(2) 競技会等の開催支援

3月21日から23日に、浜名湖にてセーリングチャレンジカップを開催し、全国から17クラブのジュニアからユース世代62名が参加しました。大会の目的は、一年間の自己の練習成果の確認と次年度への目標設定の場とすることとしました。大会には、北京オリンピック代表の飯島選手、松永選手、上野選手が特別アドバイザーとして参加し、講演と選手への直接指導やアドバイスなどを行い、参加者の満足度は高いものとなりました。

II. スポーツチャレンジ助成事業

1. スポーツチャレンジ助成事業

平成19年9月1日から11月16日までの募集期間中、体験29件、研究65件の応募があり、平成19年12月の書類選考、平成20年1月の面接選考により、第2期生助成対象者として、体験13件、研究12件を決定し、3月に助成金贈呈式を行いました。助成対象者は、平成20年4月より翌年3月までを活動期間とし平成21年年3月に成果発表会兼修了式を実施する予定です。

2. スポーツ振興、文化の普及・発展のための研究等活動を行う学生に対する奨学金給与

平成19年9月1日から11月16日までの募集期間中、海外留学生3名、外国人留学生20名の応募があり、平成19年12月の書類選考、平成20年1月の面接選考により、第2期生奨学金対象者、海外留学生3名、外国人留学生2名を決定し、3月に奨学金贈呈式を行いました。留学開始時期から2年間または1年間を活動期間とし、平成21年3月に成果発表会兼修了式(1年間対象者)を実施する予定です。

尚、海外留学生1名が体調不良のため留学を辞退したため、対象者は2名となりました

III. スポーツ文化事業

1. スポーツの普及・振興に功績のあった個人・団体に対する表彰

スポーツ振興に貢献した「縁の下の力持ち」を表彰する「スポーツチャレンジ賞 功労賞・奨励賞」を企画し、11月中旬、スポーツ関連団体約500ヶ所に概要書を送付し、推薦依頼をしたところ、功労賞候補 13件、奨励賞候補 10件の推薦をいただきました。現在、スポーツチャレンジ賞選考委員会にて対象者を審議中で、表彰は平成21年3月開催のスポーツチャレンジウィークにて実施する予定です。

2. スポーツに関する安全啓発およびスポーツ振興のための国際交流

マリンスポーツを安全に行うために、本年度は、YMFS提携ヨットスクール全てに対してAEDの設置と、ジュニアヨットスクールを開催する8スクールに緊急蘇生セットを設置するための支援を行いました。

3. その他の事業

(1) スポーツ普及・振興のためのパネル展示

3月に横浜、神戸で開催された国際ボートショー、9月21日静岡県御前崎で開催されたオートバイライダーによる海岸清掃活動「Love The Earth」にてパネル展示を行い、財団活動を紹介しました。

(2) スポーツ普及・振興のためのWEB開設

助成対象チャレンジャーレポートやコラムの充実、成果発表資料の掲載などにより、1日当りの閲覧者数、閲覧ページ数が増加しましたが、その後は横ばい傾向にあるため、現在、ページ更新の頻度向上と新たなコンテンツを検討しています。

(3) スポーツ普及・振興のための定期刊行物発行

2月に平成19年度(2007年度)の年間報告書を作成し、関係各所に配布しました。
また 助成対象チャレンジャーの活動報告、インフォメーション等をまとめた情報誌「YMFS通信Do the challenge」を年間2回発行しました。
また、今年度より、新たなコンテンツとして連載コラムを3本開始しました。

(4) 水辺をテーマとした絵画コンテストの開催

7月1日から9月30日までの3ヶ月間の公募を実施し、全都道府県より5,291作品が寄せられました。10月9日の予選会で約300作品の入選作品を選出し、その中から10月24日本選会にて、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞の4大臣賞を含む入賞作品35作品を決定しました。
また、大臣賞受賞者に対しては、11月に在籍校において表彰式を実施しました。

以上